仙北市立　角館中学校

小倉山通信

学校報

平成２８年11月４日

角館中学校ホームページ　http://www.city.semboku.akita.jp/sc_kakuchu/
角館中学校ブログ　http://19850424.at.webry.info/

No.27　通巻71

実りの秋に

武家屋敷の銀杏，そして学校正門前の銀杏も秋にふさわしい黄色を放っています。

角館中学校の図書室はかなり充実していて，最近の本が結構入っています。また，一昔の本もたくさん入っています。私が昨年から気になっている本が「三浦しをん」著の「風が強く吹いている」です。この本は図書室にもありますが，各学年ホールの書棚にも何冊かあります。それだけ，内容が面白いのです。私は，この本の内容を描いた映画や劇を見たことがあります。でも，実際の文章に触れたことがなかったのです。よく，同じ内容のものを「映画で見るか，本で見るか」と問われることがあります。私は，大体，本で読むことの方が好きです。文章で描かれた内容が，自分の想像でどのようにでも解釈できるからです。

今回「風が強く吹いている」を図書室の黒板の前にある文庫本が置いてある書架から借りて読んでいます。659ページもある厚い文庫本です。

内容を少しだけ紹介します。

東京のある町に寛政(かんせい)大学があり，そこに通っている学生が住んでいる古い「竹青(ちくせい)荘」というアパートがあります。ここに，１年生の蔵原走（くらはら かける）が入って来ます。ここのリーダーは４年生の清瀬灰二（きよせ はいじ）。この蔵原と清瀬は高校時代にインターハイにまで行くことができた素晴らしいランナーでしたが，事情があって今は二人とも自分で走るだけの生活をしています。この竹青荘に蔵原が来て，居住している大学生が10人になりました。そこで清瀬は，その素人集団10人に向かって，箱根駅伝に出よう！と呼びかけるのです。どうして素人の集団で箱根駅伝が目指せるのだ，と住人は一同に反対しますが，清瀬の説得や普段の清瀬の生き方に共感して，予選から彼らは出ることにしたのです。それから苦しい練習が始まりました。

そして予選会が始まりました。

午前8時半。予選会ははじまった。

36大学。415人の選手たちがいっせいに走りだす。箱根駅伝出場をかけた戦いの幕開けだった。

このなかから箱根に行けるのは，9校のみだ。絶対にそのなかに入ってみせる。走(かける)は力強く地を蹴(け)った。(中略)

心地いい。切り裂く風も，踏みしめる道も，この瞬間だけは俺のものだ。こうして走っているかぎり，俺だけが体感できる世界だ。

心臓が熱い。指の先まで血が流れているのがわかる。重い，まだまだこんなものじゃないはずだ。もっと体を変化させろ。苦しみを知らず草原を駆ける，しなやかな獣のように。暗闇(くらやみ)を照らす，銀色の光のように。

11.2キロの折り返し地点を，走は流線型の最新マシンかと見まごうほど無駄なく曲がった。スピードを落とすことは罪悪だ。走るために，俺のすべてはあるのだから。

走は前方を行くイワンキを，すでに射程にとらえていた。

加速する走を目(ま)の当たりにし，清瀬は恍惚(こうこつ)となった。

あの走りを見てくれ。走るために生まれた存在のうつくしさを。

悔しさも羨望(せんぼう)も軽々と凌駕(りょうが)する姿。べつの生き物のようだ。重力に縛られ，酸素の供給に汲々(きゅうきゅう)とする俺との，なんというちがい。

清瀬は叫びだしたい気持ちを，なんとかこらえた。やっぱりきみしかいない。こんなふうに，走ることを体現してくれるのは。俺を駆り立て，新しい世界を見せてくれるのは，走，きみだけだ。(中略)

葉菜子(はなこ)はゴールから50メートルほど手前で，ようやくひとの壁に隙間を見つけた。「すみません」ともぐりこみ，前列に入らせてもらう。寛政大のジャージを着ていたので，見物客は関係者だと察し，親切に場所を空けてくれた。

葉菜子はストップウオッチを見る。スタートから57分35秒が経過。20キロを走るのだから，いくらなんでもまだかかるだろう。

そう思っていたのに，歓声が波のように近づいてきた。各大学の応援部は，ここぞとばかりに校歌を歌い，旗を振りまわす。緑の木陰から，先頭のランナーが見えてきた。西京大学の黒人留学生だ。つづいて，同じくもう一人の黒人留学生。

「すごい……」

葉菜子はつぶやいた。見物客のどよめきのなか，留学生たちは20キロを58分12秒と28秒でゴールした。あの身体能力の高さときたら，無敵という言葉がふさわしい。竹青荘のメンバーは，どうなったのか。葉菜子はゴールした選手に拍手を送りながらも，のびあがってコースを見た。

カーブを曲がって，人影が現れた。葉菜子は思わず絶叫した。言葉にならない。

走だった。

三位でゴール前最後の直線に差しかかったのは，蔵原走だったのだ。

「どうせ上位は黒人選手だよ」
そう囁き(ささやき)あっていた見物客も，先ほどの比ではないどよめきをあげた。うねるような歓声が湧く。葉菜子も夢中で，「蔵原くん！蔵原くん！」と呼びかけた。
走はなにも耳に入っていないようだった。
荒い息づかいが，葉菜子のまえを一瞬で過ぎ去る。走はまっすぐにゴールだけを見て，短距離走かと思うほどのダッシュで，50メートルを駆け抜けた。執念と闘志を感じさせる走りに，見物客はのまれた。
聖者が通ったかのように，ゴール前はいっとき静まり返る。
葉菜子はストップウオッチで確認した。走がゴールに走りこんだのは，スタートから59分15秒後のことだった。イワンキはその５秒後にゴール。走は，甲府学院大のエースに競り勝ったのだ。
ざわめきがゴール前に満ちる。
「竟政大だったぞ。箱根では見たことのない学校なのに」
「ものすごい選手がいるじゃないか」
蔵原君よ。まだ一年生の，蔵原走君よ。葉菜子は周囲のひとに言ってまわりたかった。だが，そんな時間はなかった。後続の選手たちが，つぎつぎにゴール前の直線に到着したからだ。

この件(くだ)りでまだ半分の300ページ以降のところです。もしも，この前この後が知りたい方は，是非「風が強く吹いている」をお読みください。三浦ワールドに引き込まれること，間違いなしです。

蒼宙学年　職場訪問活動及び宿泊研修

11月8日(火)～9日(水)の１泊２日で，１年生は秋田市での職場訪問，宿泊研修を行います。計画は次の通りになっています。

◇11月8日(火)
07:05　学校集合
07:25　学校出発
08:45　秋田駅東口到着
09:30　各企業・事業所へ出発
11:45　秋田駅東口集合
12:00　ユースパルへ，昼食休憩
14:10　博物館見学(本物体験①)
16:45　博物館出発
17:40　入所式
18:15　夕食
19:20　入浴・研修の振り返り
20:50　部屋班長会議
21:30　消灯，就寝

◇11月9日(水)
06:15　起床・洗顔
06:30　朝の集い
07:00　朝食・健康観察
07:45　部屋掃除・身支度完了
08:10　研修の振り返り
09:20　Project Adventure(PA)活動
10:50　ニュースポーツ体験
12:30　昼食
13:15　退所式
14:20　県立美術館見学(本物体験②)
15:40　美術館出発
17:10　学校到着・解散

１日目の職場訪問は次の29の事業所です。
〇ホテルメトロポリタン秋田，(株)竹半，県立体育館，秋田地方・家庭裁判所，秋田県警察本部，秋田県庁，AKT 秋田テレビ(株)，(株)ABS 秋田放送，秋田魁新報社，わかこま保育園，こどもの国保育園，大和ハウス工業(株)秋田支店，奥羽住宅産業(株)，城東整形病院，特別養護老人ホームリンデンバウムいずみ，聖園幼稚園，秋田県スポーツ科学センター，金満トピコ店(秋田)，光月堂，いとく秋田東店，東横イン秋田駅東口，ペットワールドアミーゴ，山王チェッカーサービス(有)，バウハウス，elteeb(美容室)エルティーブ，総合生活文化会館アトリオン，イヤタカ，セントラルフィットネスクラブ秋田，(株)こうせいあきた児童デイーサービスセンター

テーマは「ほんもの体験」です。博物館や県立美術館での体験を充実させてきてほしいと思います。特に，藤田嗣治の「秋田の行事」については，後で感想を聞いてみたいです。

平成28年度　生徒会役員選挙公示

今年度の後学期生徒会役員選挙公示がありました。その結果，次の方々が立候補しました。全て信任投票です。角館中学校の生徒会活動の活性化を更に推進するよう，期待します。

◇　平成２８年度生徒会三役立候補届出
※　立候補者(太字)，責任者，応援弁士の順です。

〇会長立候補者
能美勇樹さん(２A)，戸嶋宏樹さん(３C)
伊藤彩美さん(３D)

〇副会長立候補者(２年)
草薙魁さん(２C)，小松菜乙さん(２A)
髙貝優陽さん(３C)

〇副会長立候補者(１年)
千葉航太さん(１C)，髙村徳幸さん(１B)
戸嶋友哉さん(１D)

◎　第31回平和中学校選抜球技大会（バレーボール女子）　第３位
・予選リーグ　２勝１敗　２位
角館●１(23-25,25-22,8-25)２〇協和
角館〇２(25-17,25-15)０●大曲
角館〇２(25-19,25-21)０●横手北
・３位決定戦
角館〇２(25-23,25-17)０●大曲西